

TOTO

洗面化粧台・ウォールキャビネット

LDB604・LDB754・LWB754・604型

商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。

1) 安全上のご注意

- 取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取り付けいただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

〇は、してはいけない「禁止」内容です。	！は、必ず実行していただく「強制」内容です。
---------------------	------------------------

●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

浴室など湿気の多い場所へ設置しない
漏電により感電するおそれがあります。

禁止

電気配線工事・給排水工事は、関連する法令にしたがって、必ず「有資格者・指定業者」が行う
火災や感電および水漏れの原因になります。

必ず実行

警告

壁固定用ねじ取り付け位置に木さんを入れて補強する
キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

必ず実行

13mm以下
木さん

注意

湯・水を逆に配管しない
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。

禁止

カウンター・洗面ボウルの上のらない
故障および転落・転倒してけがをするおそれがあります。

禁止

凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う
凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。

必ず実行

取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

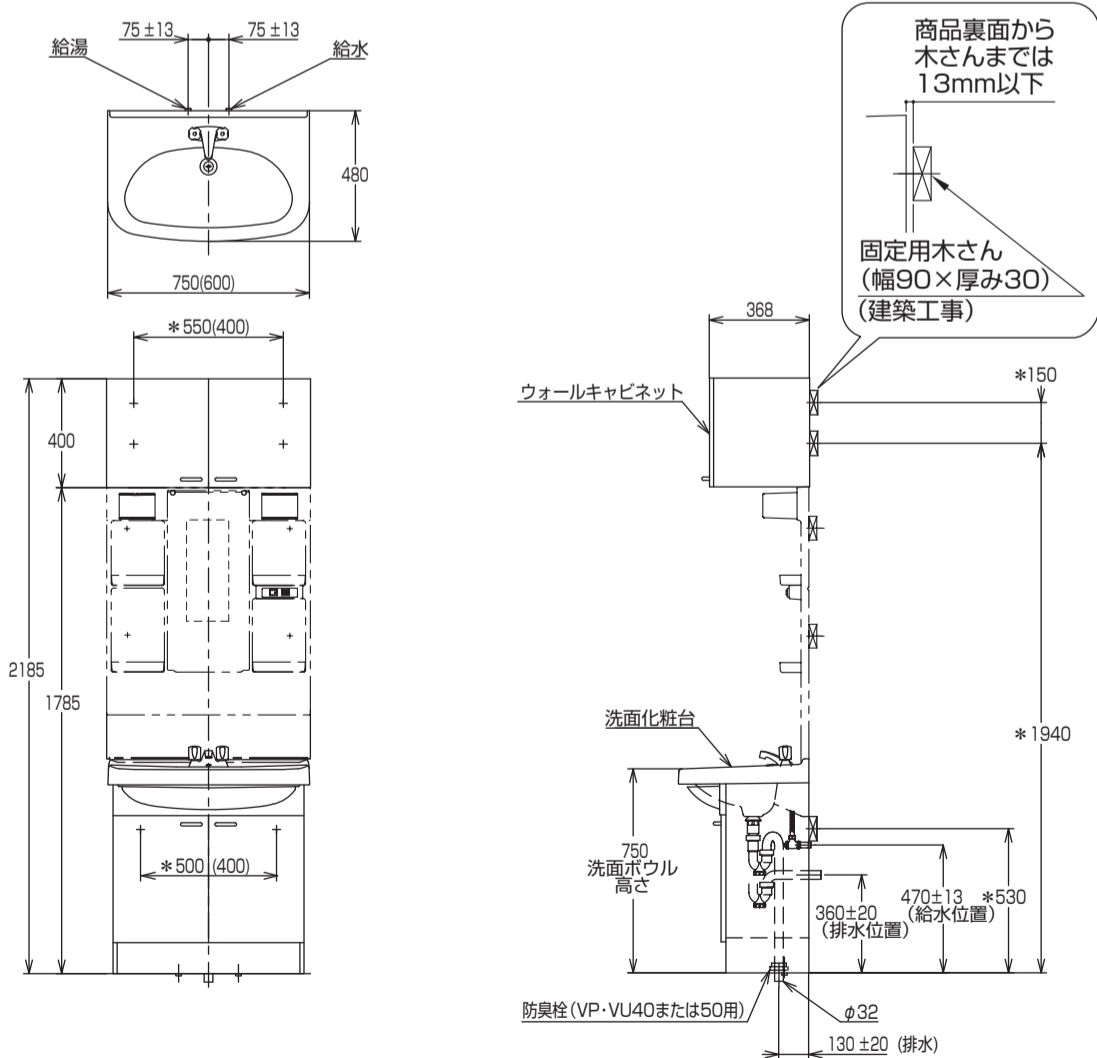
必ず実行

取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行

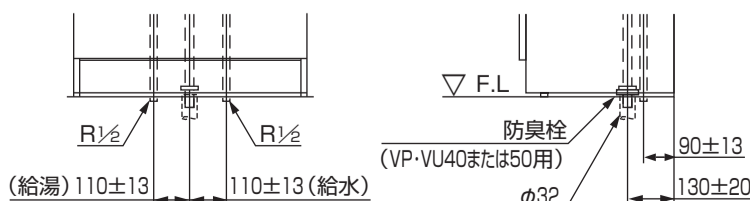
2) 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 本図はLDB754ACタイプ+LWB754タイプです。
- () 寸法は600サイズです。
- *印の寸法は木ねじ位置を示します。



【床給水の場合】

給水・給湯位置



※止水栓・連結管および壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。
 (注) 一般地用シングルレバー混合栓の連結管は、止水栓に付属しています。







【別売品】

			LDB604AD 単水栓	LDB604AC・754AC 2ハンドル混合栓	LDB604AM・754AM シングルレバー混合栓
止水栓	壁給水	一般地	LTL316C1RU (1個)	LTL316C1RU (2個)	LTL524CD8U (2個)
		寒冷地			LTL316C1RU (2個)
	床給水	一般地	LT4BD18U (1個)	LT4BD18U (2個)	LT4BDUY (2個)
		寒冷地			LT4BD18U (2個)
連結管	壁給水	一般地	LTN65LX25 (1個)	LTN65LX25 (2個)	---
		寒冷地			LTN65LX25 (2個)
	床給水	一般地	LTN65LX30 (1個)	LTN65LX30 (2個)	---
		寒冷地			LTN65LX30 (2個)
壁排水トラップ	一般地	L094			
	寒冷地				

3) 付属部品明細

【洗面化粧台 LDB】

	名 称	数 量
1	水栓一式 (※シングルレバー混合栓のみ保証書を付属しています。)	
	シングルレバー混合栓 LDB604AM・754AM	1セット
	2ハンドル混合栓 LDB604AC・754AC	1セット
	単水栓 LDB604AD	1セット
2	排水トラップ	1セット

	名 称	数 量				
3	給水ふた ※右のいずれかが付属しています。	ねじなしタイプ	給水ふた (めっき管用)		LDB604ADURA	1個
					上記以外	2個
		ねじありタイプ	給水ふた		LDB604ADURA	2個
					上記以外	4個
			ふた固定用ねじ (φ3×12)		LDB604ADURA	2本
			上記以外	4本		
4	排水ふた ※右のいずれかが付属しています。	ねじなしタイプ	排水ふた (φ32用)			1個
		ねじありタイプ	排水ふた			1個
			ふた固定用ねじ (φ3×12)			3本

	名 称	数 量
5	防臭栓	1個
6	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	2本
7	取扱説明書 (保証書付)	1冊

【ウォールキャビネット LWB】

	名 称	数 量
1	壁固定用ねじ (φ5.2×55)	4本

4) 設置上のご注意

- 湿気の多い場所では、木部が膨潤する原因になりますので設置しないでください。
特に浴室には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮ってください。
- 取り付けは必ず平滑な壁面としてください。

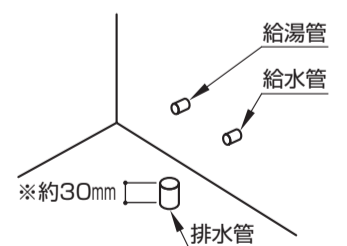
5) 取り付け前の準備

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施してください。
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木さんを入れてください。

重要

※特にウォールキャビネットは洗面用具などが収納されるとかなりの重量になりますので、地震などの際に落ちることのないように、壁固定用ねじ取り付け位置には、壁面に固定用木さんを入れてください。

- (壁面に固定用木さんが取り付けられない場合は、設置壁の表面の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付けてください。)
- 給水・給湯管を所定の位置に取り出してください。
 - 器具を取り付ける前に必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。
 - 化粧台に給水・給湯穴 (φ52)、排水穴 (φ90) を穴あけしてください。
 - 排水管を所定の位置に仕上げ面より30mm立ち上げてください。



※電気温水器をセットする場合は50mmで立ち上げてください。

6) 使用条件

【シングルレバー混合栓】

- 水栓金具の使用条件は水栓金具に付属の取付説明書をご参照ください。

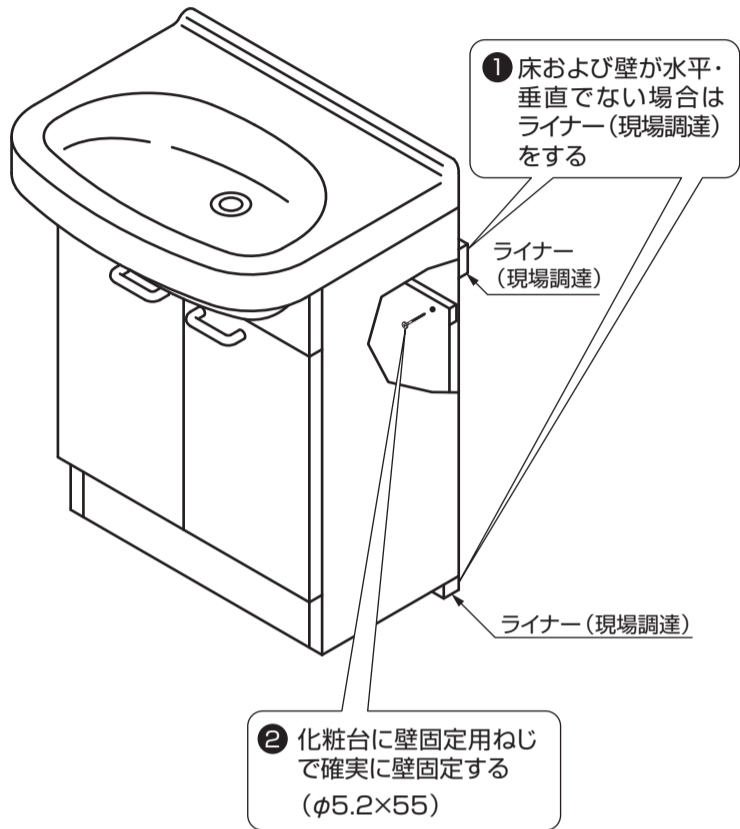
7) 取り付け手順 (番号順に取り付けてください。)

※コンクリート壁の場合は、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじに合ったプラグ(引き抜き強度：1,000N 以上/本)を打ち込んでおいてください。(プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

1 化粧台の取り付け

重要

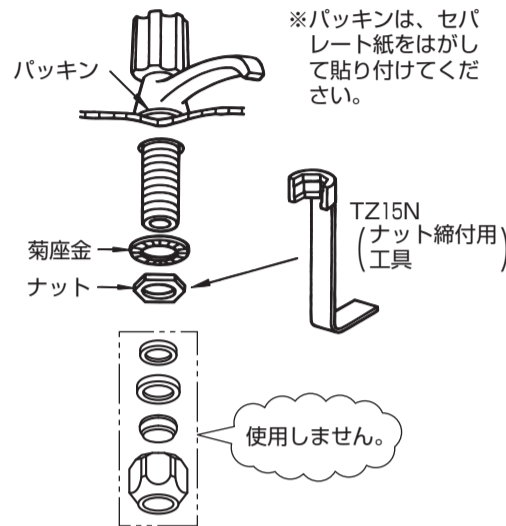
※商品が水平・垂直に取り付けてください。
(床・壁面に不陸がある場合は、ライナー(現場調達)を入れて調整してください。)



2 水栓金具の取り付け

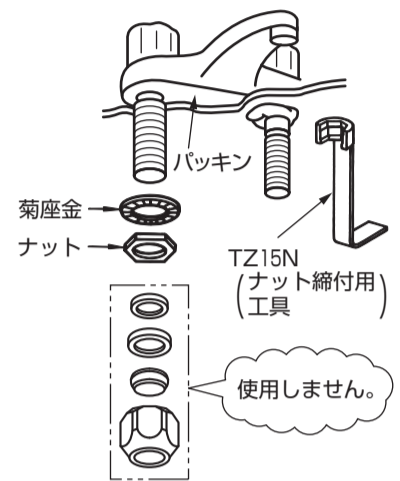
- 別売のナット締付用工具(TZ15N)を使用して確実に締め付けてください。
- ※水栓本体と陶器のすき間が見えなくなるようにナットを確実に締め付けてください。

【単水栓の取り付け】



【2ハンドル混合栓の取り付け】

※片締めしますと、洗面ボウルが割れるおそれがありますので左右交互に均等に締め付けてください。



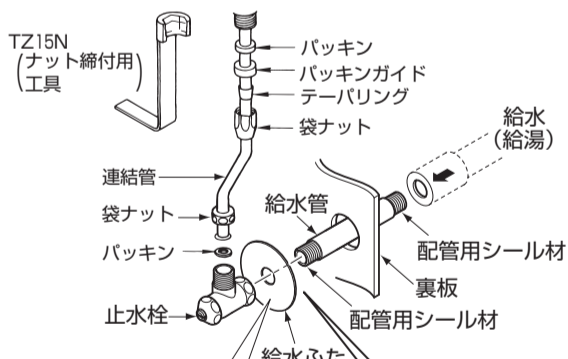
- シングルレバー混合栓の場合は、水栓金具に付属の取付説明書をご参照ください。

3 止水栓・連結管の取り付け (別売品)

- ナットは工具で確実に締め付けてください。
- 連結管が長い場合は、差込代を15mm以上確保し、カットしてください。

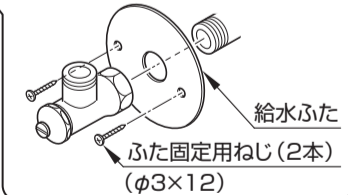
シングルレバー混合栓 (一般地タイプ)

【壁給水の場合】



※給水ふたは、裏板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

【ねじ固定の場合】

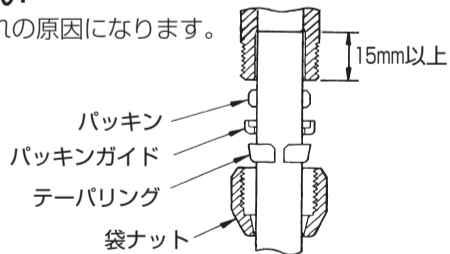


注意

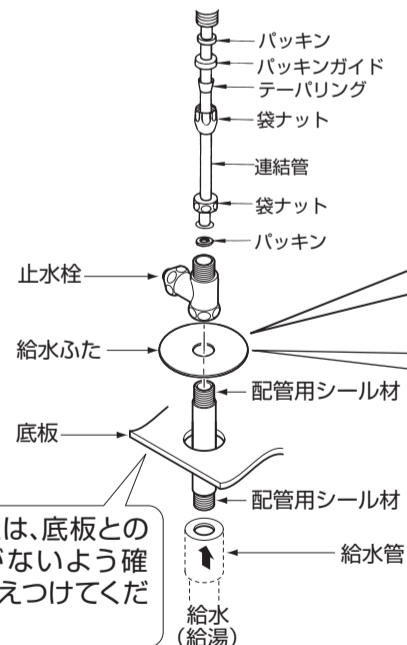
- テーパーリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きをまちがえないでください。
 - ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない
- 水漏れの原因になります。



必ず実行

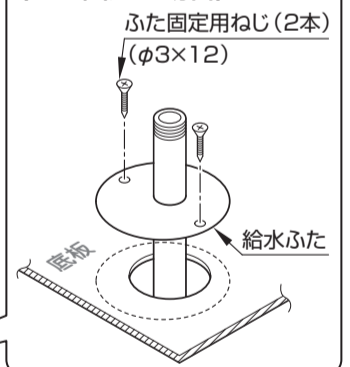


【床給水の場合】



※給水ふたは、底板とのすき間がないよう確実に押さえつけてください。

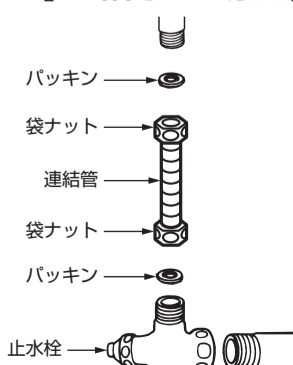
【ねじ固定の場合】



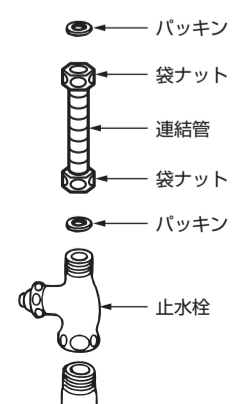
※排水ふた、または給水ふた同士が重なった場合は、重なった部分をカットしてください。

シングルレバー混合栓 (寒冷地タイプ) ・単水栓 ・2ハンドル混合栓

【壁給水の場合】



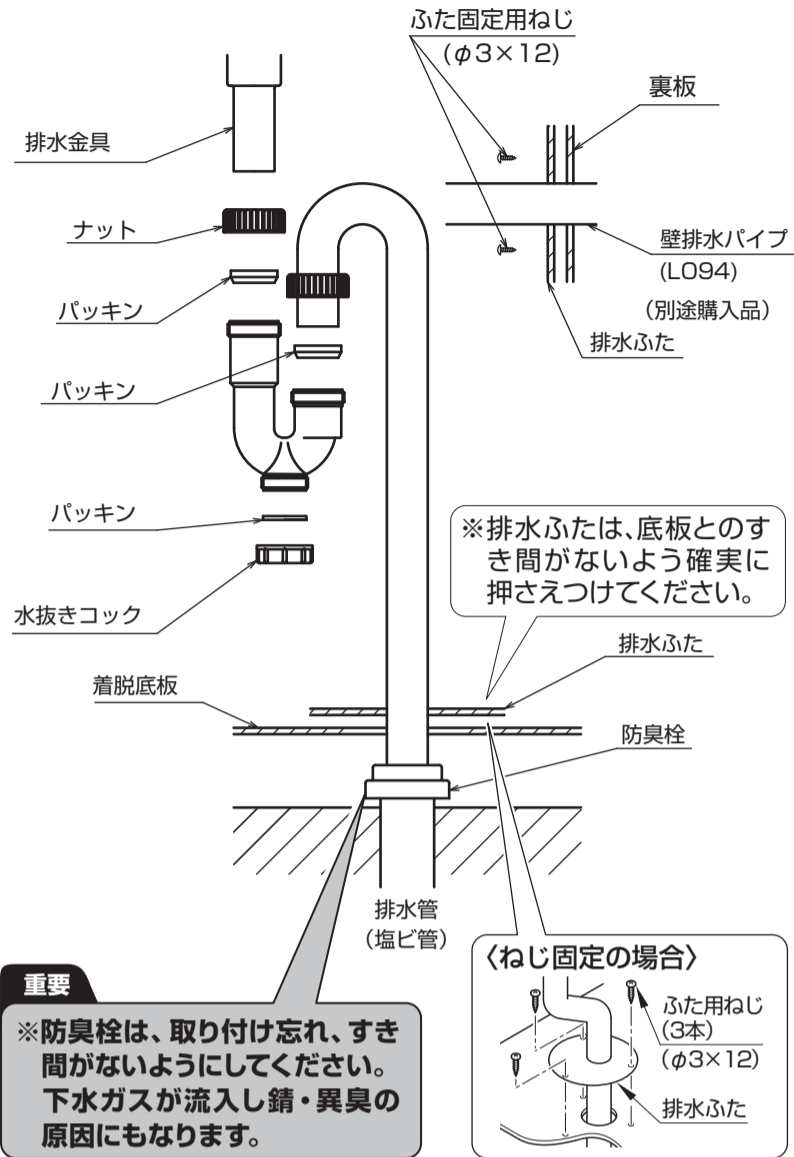
【床給水の場合】



4 排水トラップの取り付け

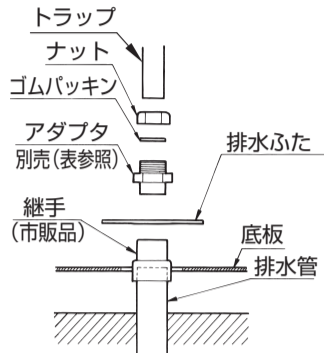
※ナット・水抜きコックは必ず手で締めてください。工具を使用すると破損するおそれがあります。

- 床排水トラップの場合は、配水管に防臭栓をはめてトラップを差し込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ(下表)で確実に接合してください。



【集合住宅、高層住宅の場合】

アダプタの種類	サイズ
T1122 (銅管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
LO48 (塩ビ管用)	40用
LO49 (塩ビ管用)	50用

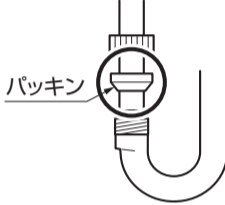


注意

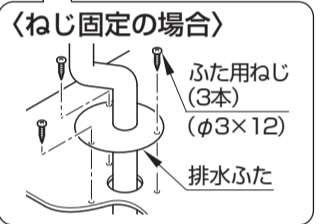
パッキンの方向に注意する



必ず実行

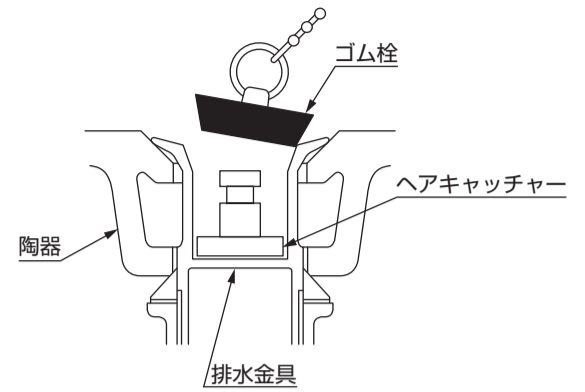


ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない
水漏れの原因になります。



5 ゴム栓・ヘアキャッチャーの取り付け

- 水栓に付属または洗面器に接続されているゴム栓を排水口の図の位置に取り付けてください。

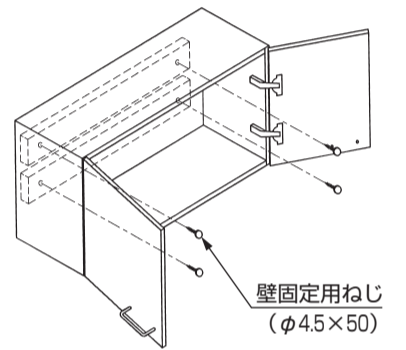


8 ウォールキャビネットの取り付け

(別売品のウォールキャビネットを取り付ける場合は、この方法にしたがってください。)

- ウォールキャビネットを化粧鏡の上に乘せて、水平方向・垂直方向の位置合わせをしてください。
- 付属の壁固定用ねじ(4本)で壁に確実に固定してください。

※壁がゆがんでいたり、キャビネット本体がゆがんで取り付けますので、ライナー(現場調達)を入れて垂直に固定してください。



9 扉の段差調整方法

【調整要領】



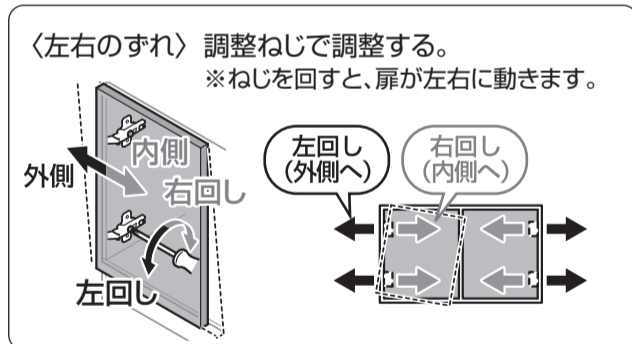
電動ドライバー禁止
部材が破損し扉の脱落につながり、けがをすることがあります。

注意



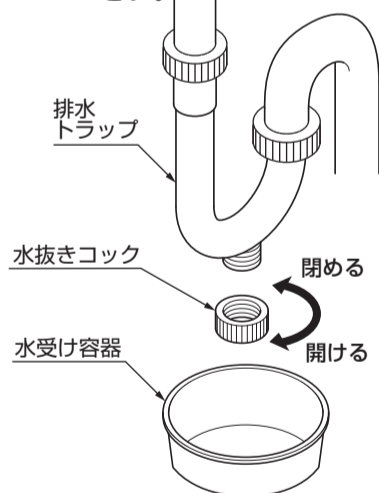
調整後、固定ねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する
必ず実行 扉が外れて、けがをすることがあります。

〈扉の丁番調整のしかた〉



10 排水トラップの水抜き方法

- ①水受けの容器を置き、水抜きコックを開いてください。
- ②水抜き後は必ず水抜きコックを手で確実に閉めてください。



注意

水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない
必ず実行 水漏れの原因になります。

11 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 扉の傾き・がたつきなど丁番のゆるみがないことを確認してください。
- 商品についた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。

重要

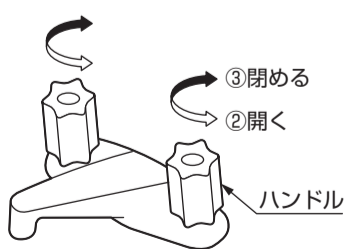
シンナー・ベンジン・除光液などの使用は表面の変色・変質の原因になりますので、絶対に使用しないでください。

12 寒冷地タイプの水抜き方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを設けております。

単水栓・2ハンドル混合栓

- ①配管部の元栓を閉め、水抜き栓(配管部)を開けてください。
- ②水栓金具のハンドルを開いてください。
- ③水抜き後は必ずハンドルを確実に閉めてください。
- ④配管部の水抜き栓を閉め、元栓を開けてください。
※水栓本体の水抜きはありません。



シングルレバー混合栓

- ①配管部の元栓を閉め、水抜き栓(配管部)を開けてください。
- ②レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で上げてください。
- ③水抜きコックを開いてください。
- ④水抜き後は必ずレバーハンドルを下げ、水抜きコックを確実に閉めてください。
- ⑤配管部の水抜き栓を閉め、元栓を開けてください。

注意



必ず実行

- 凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをする
お客様にも水抜き方法をご指導ください。
- 水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない
水漏れの原因になります。

